

国際空手道連盟極真会館 世界総極真 大石道場

第5回 加古川ジュニア空手道選手権大会

第4回 兵庫県極真空手道「型」選手権大会

各道場関係者各位

【大会会長】迎山 志保 兵庫県議会議員
【大会最高審判長】大石 代悟 大石道場 範士
【大会実行委員長】吉崎 英子 兵庫支部 支部長

向寒の折から、各道場・師範・先生方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、この度ご案内の通り、武道空手の普及ならびに各道場様との交流を目的と致しました、
第5回加古川ジュニア空手道選手権大会 ならびに 第4回兵庫県極真空手道「型」選手権大会を
開催する運びとなりました。

日頃ご指導された鍛錬の成果を発揮され、共に競い合い、友好を深めて頂ければ最高の大会となる事と
存じます。

ご多忙な時期とは存じますが、何卒ご検討くださり、ご参加下さいますよう、心よりお願い申し上げます。
(なお、大会会場につきましては、昨年迄とは異なりますのでご注意ください。)

記

- 開催日 : 平成28年3月21日(月・祝日)
開場 : 8時45分(選手受付:9:00~)
開会式 : 9時30分 ※開会式後は「型」試合より始め、「型」決勝後に組手試合を行います。
- 会場 : 加古川市立総合体育館(コミュニティアリーナ)
所在地:兵庫県加古川市西神吉町鼎1010 TEL:079-432-3000
- 主催 : 極真会館 世界総極真大石道場 兵庫支部
- 参加クラス : 別紙「出場申込書」の出場クラスを参照下さい。
※組手 ⑬~⑳の優勝者は、平成28年秋の全日本ジュニアチャンピオンシップ大会参加の権利を獲得。
- ルール : プロテクター着用によるフルコンタクト空手ルール。
組手の全てのクラスにおいて、上段前蹴り・上段膝蹴りを禁止します。
- 参加資格 : 組手: 心身ともに健康である4歳以上から中学生までの男女。
型: 武道精神と純粋な心で型を行える5歳以上の白帯から一般黒帯まで。
※武道としての礼儀・威厳を保つため、頭髪の染色(茶髪・金髪等)やピアス・刺青等、
武道に相応しくない身なりをした方の出場はお断りいたします。
フリー参加や非公開・所属道場責任者の許可がない方の参加は認めておりません。
- 参加費 : 組手又は型 の1部門 5000円
組手 + 型 の2部門 6000円 ※参加費には、スポーツ保険料・パンフレット代が含まれます。
- 競技内容 : 別紙「試合規約」を参照下さい。
- 表彰 : 組手: 優勝・準優勝・・・トロフィーと賞状 3位・・・メダルと賞状
◆最優秀選手賞・敢闘賞・・・神戸新聞社より盾と賞状
◆小学1・2生の部 1名・・・加古川市長賞 盾と賞状

型: 優勝・準優勝・・・盾と賞状 3位・・・メダルと賞状
◆最優秀優勝者・・・兵庫県知事賞 盾と賞状
◆最優秀選手賞・敢闘賞・・・神戸新聞社より盾と賞状
◆組手・型 各クラス優勝者に、神戸新聞社よりメダル授与
- 申込方法 : 別紙申込用紙と参加費を、下記の大会事務局まで現金書留にて郵送して下さい。
※申込み後の参加費は、如何なる理由がありましても返却は出来ません。
- 注意事項 : 大会当日、新型インフルエンザ等により感染拡大が懸念される事態及び、行政からの
指導がある場合は、本大会を延期する場合があることをご了承下さい。
- その他 : トーナメント表は3月10日(予定)に兵庫支部ホームページに掲載致します。
ゼッケンは当日受付にて配布いたします。

ほか各参加団体の有段者の方で、審判協力をして下さる方を募集しておりますので、
ご協力をお願いいたします。

【大会事務局】 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家716-14 東加古川ヤングビル2階
TEL/FAX : 079-425-9098 / 携帯 : 090-5121-9908(吉崎)
HP : <http://www.osu-kakogawa.jp/>
E-mail : osu-kakogawa@mail.goo.ne.jp

【後援】 ◆兵庫県 ◆兵庫県教育委員会 ◆加古川市 ◆高砂市 ◆加古川市教育委員会
◆神戸新聞社 ◆BAN-BANネットワークス株式会社 ◆ヤング開発株式会社

申込み締切日:平成 28年 1月 31日(日) 必着

第4回 兵庫県極真空手道「型」選手権大会 概要・規約

【 出場クラス分け 】

- | | | |
|--|---|--|
| <p>■ 初級の部（白帯・オレンジ帯）</p> <p>1: 幼年（年中・年長）</p> <p>2: 小学1・2年生</p> <p>3: 小学3～6年生</p> <p>4: 中学生</p> <p>5: 高校生～一般</p> | <p>■ 中級の部（青帯・黄帯）</p> <p>6: 幼年・少年(小学3年以下)</p> <p>7: 小学4～6年生</p> <p>8: 中学生</p> <p>9: 高校生～一般</p> | <p>■ 上級の部（緑帯～）</p> <p>10: 少年(小学3年以下)</p> <p>11: 少年(小学4年～6年)</p> <p>12: 中学生</p> <p>13: 高校生～一般</p> |
|--|---|--|

◇参加人数により、クラスの統合・廃止となる場合があります。その場合は道場責任者へ連絡いたします。
 ◇帯色は、申し込み時点でのクラスとします。

【 演武する型(指定型・選択型) 一覧 】

		初級 白・オレンジ	中級 青・黄	上級 緑～
幼年～6年生	1回戦 指定	太極 3	平安 1	平安 2
	2回戦以降 指定	平安 1	平安 2	平安 4
	3回戦～準決勝 指定	平安 1	平安 2	撃砕 大
	決勝 選択	太極 3、 平安 1～3 より	平安 2～5、撃砕大、撃砕小、安三、 突きの型、最破、十八 より	
中学～一般	1回戦 指定	太極 3	平安 2	平安 2
	2回戦以降 指定	平安 1	平安 2	平安 4
	3回戦～準決勝 指定	平安 1～2	平安 2、平安 4、撃砕 大	
	決勝 選択	平安 1～2	平安 2～5、撃砕大、撃砕小、突きの型、安三、 十八、最破、臥竜、征遠鎮、観空、五十四歩より	

※注意※

各クラスの出場人数によっては、上記以外の選択または指定の区分になる場合もあります。
 詳細な人数決定後、トーナメント表を参照下さい。

【演武方法】

- 1回戦から準決勝まで、赤・白同時に演武を行う。(白から先に名前を呼ばれます)
- 初動作で間違えた場合は、一度はやり直し可。
- 準決勝・決勝戦は、赤・白 1名ずつ演武を行う。(但し、2名同じ型の場合は2名同時に行う)
- 主審1名・副審2名のうち、2名以上の旗をもって勝ちとする。
- 決勝戦は主審1名副審4名のうち、3名以上の旗をもって勝ちとする。

- ① 演武場に入り主審の号令にて「正面に礼・主審に礼・お互いに礼」の後、正面を向き不動体となり、(流派によっては黙想をして)心静かに待つ。
- ② 主審が「型」の名前を言い「用意」の号令で十字を切り、息吹をして「始め」の号令で演武開始。
- ③ どちらかが先に演武を終了したら、最後の姿勢のまま相手が終了するのを待ち、主審の「直れ」の号令にて正面を向き、判定を待ちます。判定後、「正面に礼・主審に礼・お互いに礼」をし、終了。
- ④ (決勝戦の演武開始時)

赤・白呼ばれたら主審の号令にて「正面に礼・主審に礼・お互いに礼」をし、白から先に演武を行う。赤は、下がって正座をして待つ。
演武終了後、正面を向き、判定を待つ。

※ 延長の場合、主審の裁量で1回の試合中で2種以上の型を行うこともある。

延長の場合、規定型以外の型を行う場合がある。

(例:オレンジ帯なら「太極」というように、その帯色を取得するために必要な型)

延長戦で完全決着とする。再延長無し。

【判定基準】

- 型の大意は以下の5項目より成り立ち、その優劣を競うものとする。
- 難易度の高い型を行ったほうが勝ちではない。

- ① 正確さ
 - ② 力の強弱及び気合い・気迫 (気合は大きく短く)
 - ③ 身体の伸縮・転身のスピード・バランス
(蹴り時に軸足がブレていないか・下半身が安定しているか等)
 - ④ 技の緩急
 - ⑤ 型の流れと表現力 (目線が目標を見ているか、ブレていないか等)
- ※具体的には基本動作が正しく出来ていることを最重要とする。

【失格となる行為】

- ① 指定された型と演じている型がまったく違った場合。
- ② 演武時、著しく気合、気迫に欠け精彩がない場合や、道場生らしからぬ態度が認められた場合。

「型」大会におきましては、基本的には極真会館指定の型とします。

ただし、各道場師範・先生方が修得された演武内容に違いが生じるとは思われますが、型の大意は「判定基準」の5項目から成り、その違いは変わらないと考えますので、自分の得た型で演じてください。

第5回 加古川ジュニア空手道選手権大会 規約

【ルール】

- 国際空手道連盟ルールに準じます。
- 本大会においては、上段膝蹴り・上段前蹴りを反則とします。

【試合時間】

- 各クラス 本戦:1分30秒 / 延長戦:1分
- 再延長・体重判定はありません。

【防具】

- 各クラスとも、布製拳サポーター・布製すねサポーター・男子ファールカップを着用(義務)(ひざサポーターは任意とします)
- 女子のチェストガードは、胸部のみ、ウレタン製のものを任意で着用可とします。(プラスチック製は不可)
- ヘッドガードは着用を義務としますので、大会側で用意します。

【着衣】

- 清潔な空手着を着用すること。男子の道着の下の着衣は認めない。
- ピアス等のアクセサリ着用選手は出場を認めない。
- 主催者が用意したゼッケンを、背中中央に貼り付けること。

【審判・判定】

- 主審 1名・副審 2名
- 決勝戦は、主審 1名・副審 4名となります。
- ◆ 1本勝ち
 - 反則箇所を除く部分への突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させた場合。
 - 技あり2本の場合。
- ◆ 技あり
 - 反則箇所を除く部分への突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がれない場合、またはそのダメージにより一時的に動きが止まった場合、または、大きく崩れた場合。
 - 足掛け等で相手を転倒させ、タイミング良く下段突きをした場合。(ただし、直接打撃は反則とする。場合によっては失格となります。)
- ◆ 判定勝ち
 - 一本勝ち、失格がない場合は判定に決定する。
 - ※ 決勝戦以外・・・主審1名、副審2名のうち2名以上が優勢と認めた場合。
決勝戦・・・・主審1名、副審4名のうち3名以上が優勢と認めた場合。
- ◆ 反則
 - 手技による首から上への攻撃(首を含む)
 - 金的蹴り・頭突き
 - 上段膝蹴り、上段前蹴り
 - 倒れている相手に当てる攻撃
 - 背後からの攻撃
 - 拳底押し・正拳押し、つかみ、投げ、手掛け・クリンチ
 - 何度も場外に逃げた場合。
 - その他、審判が特に反則とみなした場合。
 - 反則は悪質なものを除き、注意が与えられる。
悪質な反則の場合、減点及び失格もありうる。
 - 注意2回で減点となる。
- ◆ 失格
 - 減点を2回重ねたとき。
 - 試合中、審判員の指示に従わなかった場合。
 - 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
 - 粗暴な振る舞いや、悪質な試合態度とみなされた場合。
 - 応援態度が悪質で目に余る場合には、選手の減点または失格もありえる。
 - 当日の計量により、規定の体重を超えているとき。(申告体重と5kg以上異なるとき)

